

『いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会』第3回会合及び研修会を開催

～青少年の安全・安心なスマートフォン利用の環境整備に向けて活発に意見交換～



連絡会で挨拶する伊丹局長



座長の金沢星稜大学の村井教授



連絡会の第3回会合

北陸総合通信局（局長 伊丹 俊ハ）は、平成26年3月18日（火）、ITビジネスプラザ武蔵において、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会（座長 村井 万寿夫 金沢星稜大学教授）の第3回会合を開催し、構成員等18機関から関係者26名が出席しました。

冒頭、伊丹局長が「平成25年度の内閣府の調査結果によると、小学生が所有する携帯電話のスマートフォンが占める割合が約16%、中学生が約5割となり、また、1日の利用時間も約4割が2時間以上利用しており、益々、本連絡会の取組が重要になっている。特に4月の新入学、新学期の時期を捉え、周知啓発活動を行っていくことが効果的であり、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を国、関係団体、事業者、利用者等と連携して集中的に周知啓発活動を行うことが必要。今後とも本連絡会と連携を密にし、必要な情報を提供していくので、引き続き、協力をお願いしたい。」と挨拶しました。

連絡会では、村井座長の進行により、設置要綱の改正、平成25年度活動報告及び平成26年度活動計画が承認されたほか、総務省の取組として、「ソーシャルメディアガイドラインの普及促進」や「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を説明しました。また、構成員の取組では、石川県警察本部、石川県高等学校PTA連合会及び日本司法支援センター石川地方事務所が県内における普及啓発の取組状況などを報告しました。

研修会では、高橋 誠 氏（LINE株式会社 政策企画室）が、「LINEのご紹介と、子どもにネットを使わせる際の注意事項」と題して、LINEの特徴と利用方法、青少年がLINEを利用する際の留意すべき事項と対策などについて講演しました。

その後の意見交換では、村井座長の司会により進められ、石川県内での青少年の深刻化するネット依存の課題について構成員から発言があり、親子のルールづくりやソーシャルメディアガイドライン等の取組の必要性について意見交換が行われました。



講演する講師の高橋 誠 氏



座長の司会による意見交換